

風水害から 命を守る方法。

3つの教訓で知る



①市街地には進入禁止箇所も



はんらん
②氾濫する用水路

平成30年7月豪雨。
多くの人的・物的被害が発生する痛ましい大規模な災害となりました。
三島市としても職員派遣を始めとする支援を積極的に行っています。風水害は他人事ではありません。



家や職場が
襲われる
と知る

家・職場にどんな危険があるのか把握しましょう。
ハザードマップは、洪水や土砂災害の発生する危険度を示した地図です。作成の背景には頻発する「大災害」の存在があります。
かつて堤防整備などの治水事業の目的は「100年に一度の豪雨にも洪水を起こさない」ことでした。

三島市 ハザードマップ

または

三島市 防災マップ

ハザードマップ
—まずは災害危険予測地図で我が家を見る—



しかし近年、想定以上の豪雨が頻発。その堤防を壊すほどの「想定外」に備えるため作成されたのがハザードマップなのです。
河川から離れていても油断できません。閲覧は危機管理課（市役所大社町別館2階）窓口またはホームページで。



③土砂は突然襲い来る

①～③呉市提供

④三島市派遣職員撮影



④避難所周辺にも砂泥が堆積



災害対策の基本は、
「自らの命は自ら守る」
「自らの地域は皆で守る」
過去の3つの教訓を实践
して大規模災害から自分の
命を守りましょう！
問 危機管理課
☎9833・2650

教訓 02



 テレビのdボタンも確認！

【気象情報】

気象庁 

【土砂災害・洪水の危険度】

ナウキャスト 

【静岡県の地域密着型防災サイト】

サイボスレーダー 

風水害に関する情報の
確認に役立つ情報源を紹
介します。

災害・避難の
情報は自ら
「取りに」行く

— 試される地域のチカラ —



避難情報の伝達には、3
つの方法があります。各ル
ートを確認しましょう。